

十和田編 平成一一年度乳質改善

共励会最優秀賞受賞

奥様と二人三脚・エサの給与工夫と繁殖台帳整備

一、はじめに

今回紹介する青森県六ヶ所村は例年ヤマセによる影響がでる地域であり、ここ数年では、一昨年の長雨そして昨年の猛暑と、良質の自給粗飼料を収穫するには非常に

気を使わなければならない年を過しました。そのような条件の中で酪農経営を営み、優秀な成績を収

めているとして、今年三月に、所属する酪農協が主催する乳質改善大会において、平成一一年度乳質改善共励会最優秀賞を受賞した小松勝牧場を紹介いたします。

二、経営概要

小松牧場の牛舎は昭和五五年に建築され、その後の増築分を含めて三九頭の対尻式のつなぎ飼牛舎です。現在、労働力は勝氏本人と奥さんの二人で、経産牛三二頭、哺育・育成牛二九頭を飼養しており、一日に約一七の生乳(一頭当たり乳量約三一kg)を出荷しており、乳脂率四・〇%、無脂固形分率九・二%、体細胞数一二〇千と

乳量、乳質ともに優秀な成績をあげています。

草地は約一八ha保有しており、そのほとんどがチモシー単播の採草地になっています。

三、給与飼料メニュー

平成一〇年一月に現在の給与体系に変更し、表1に示したように乳配(CP一六%、TDN七二%)、自給粗飼料と添加剤を給与しています。乳量三〇kgを超える牛には乳配一四kg、サプリメントを一〜三kg給与しています。各個体の乳量、ボディコンディションに合わせて配合の増減には注意を払っているそうです。また、安定した品質の自給粗飼料をとるのが難しいことから、できたものの品質に合わせた微調整にも注意しているそうです。

四、繁殖管理

現在の体系になる以前は乳量の伸び、繁殖障害等に苦しみ、思い通りに行かない時期が続いていました。現在では繁殖に最も力を入

表1 給与飼料メニュー

飼料名	30kg	乾乳牛	育成牛
粗飼料入り乳牛用配合飼料(16-72)	14kg		
サプリメント	2kg		
乾乳牛用配合飼料		2kg	
育成用配合飼料			2~3kg
自給粗飼料(チモシー主体)	飽食	飽食	飽食
リンカル	150g		
パップァー	100g		

五、おわりに

繁殖管理は酪農経営を左右する大変大きな要素です。今回紹介したように栄養管理、ボディコンディション、台帳の整備等あらゆる要因が関わってきます。最近、小松牧場では牛舎環境の整備、足への負担を軽減し平均産次数を伸ばすため、牛床マットを設置しました。目的をはっきりさせた対応があつてこそ、経営は向上していくものと改めて感じました。最後に大変お忙しい中、取材に

れており、サプリメントを上手く活用しながら、早期に種付けできる状態にボディコンディションを持つていくこと、発情を見逃さないための観察と繁殖台帳の整備に力を入れていきます。その結果、以前から見ると受胎率、受胎までにかかった日数は大きく改善されてきています。

応じてくれた小松勝氏に心から感謝致しますとともに、更なる活躍をお祈り致します。
(十和田営業所 沼原)



小松ご夫妻



雪印種苗株式会社

編集発行人 菊地庸
本社 062-8650 札幌市豊平区美園二条一丁目
TEL(〇一一)八三一一一六
東北事業部
024-0004 北上市村崎野
TEL(〇一一)四七六一二二六
FAX(〇一一)九七七一三三〇七